

【国語】

【正答率が良好であった設問】

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかを見る問題

【問題】歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）＜知識・技能＞

【課題が見られる設問】

【問題】

具体と抽象など情報と情報の関係について理解しているかどうかを見る問題＜思考・判断・表現＞

「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適当なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

【考察】

文章の意味上のまとまりに分けること、まとまりの内容を端的に表現することが苦手な生徒が多い。

【対策】

ある事柄（文章）を自分自身で短く文章にまとめ、それぞれのまとまりに見出しを付ける活動を増やしていく。

【数学】

【正答率の高かった設問】

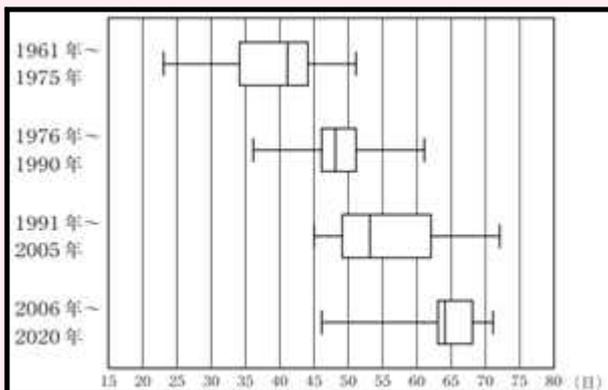
◎数学的な知識・技能

・ $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ の計算ができる。

・ 右の図1のような計算方法において、はじめの数が指定されたときの計算結果を求めることができる。

【問題】

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2055年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、1991年～2055年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に注目して説明しなさい。



【課題】

△数学的な思考・判断・表現
箱ひげ図の箱に注目し、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

【対策】

「データの活用」の単元だけでなく、授業の様々な場面で、学習した内容を用いて考察する機会を設けることで、数学的な知識・技能への理解をさらに深め、言葉や文章で説明する力を伸ばしていく。

【英語】

【正答率が良好であった設問】

日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる。

【問題】

図書館について書かれた150語程度の英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する問題（4択問題）…＜思考・判断・表現＞

【課題が見られる設問】

【問題】

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題…＜知識・技能＞

【友達同士の会話】

A: Oh, you have a new watch!
 B: Yes, I got it yesterday.
 A: (buy) the watch?
 B: At the department store near the station.

【正解】

(Where did you buy) the watch?

【考察】

正答率が良好だった「まとまった英文を読んで概要を捉える力」はこれから求められる重要な能力である。一方、課題が見られた問題は「知識・技能」を測る問題であり、英語力の基礎の部分にあたる。

【対策】

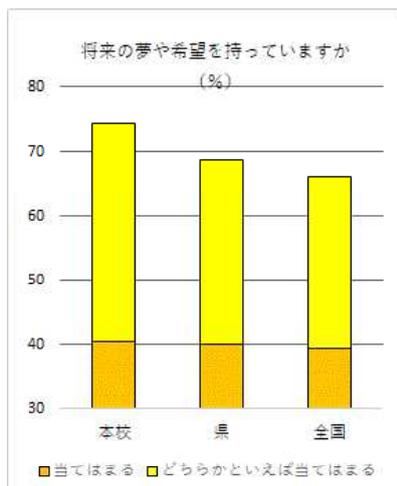
基礎・基本の補強にも注力し、英語力の土台づくりを意識した授業を展開する。併せて「話す」「書く」のアウトプットの能力を高めていく。

【「質問紙調査」からわかる本校の課題】

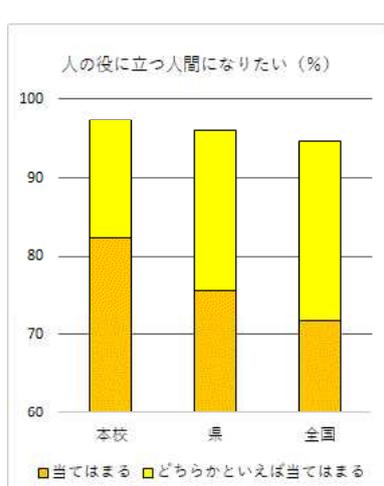
全部で72項目ある内、県平均、全国平均を基準として、本校の良い点、気がかりな点についてお知らせします。

○ 良い点

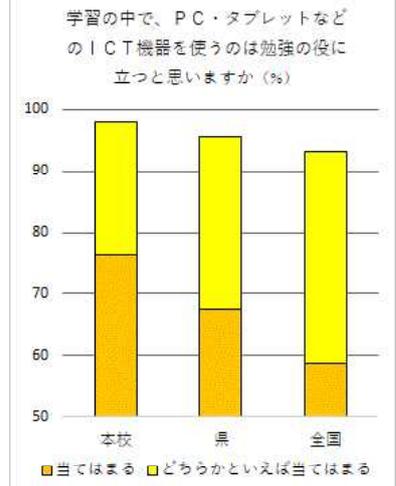
○ 将来の夢や希望を持っていますか



○ 人の役に立つ人間になりたい



○ 学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立っていますか



【結果から】

「当てはまる」、「どちらかという当てはまる」、「どちらかという当てはまらない」、「当てはまらない」の四択の回答において、「当てはまる」、「どちらかという当てはまる」と答えた生徒の数の比較です。
 本校の生徒は、将来の夢や希望を持ち、人の役に立つ人間になろうとする意思を持って活動に取り組んでいることがわかります。
 また、PC・タブレットなどのICT機器を学習に役立てていることがうかがえます。
 今後も生徒に寄り添い、支援してまいります。

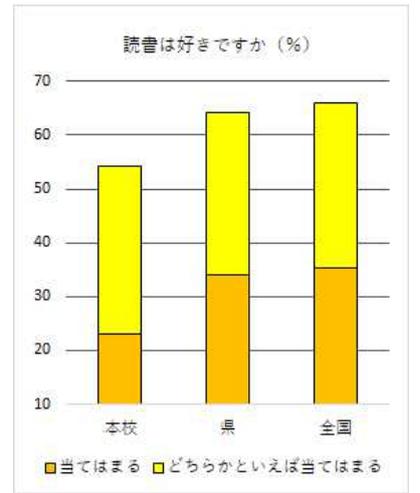
○気がかりな点

【課題】

- ・読書が好きな生徒の割合
昨年度に比べ、全国、県、本校とも読書の好きな生徒の割合が低くなっています。ICT機器等とのバランスの取れた読書活動が望まれます。

【対策】

- ・国語の授業、学級活動等で、読書活動の充実を図る。
- ・図書委員会主催で校内読書週間、校内読書集会を開催し、読書習慣の定着を図る。
- ・家庭と協力し、読書習慣の定着を図る。



学力・学習状況調査の結果は、3年生だけでなく、全学年に共通することも多くつかあります。
良いところはさらに伸ばし、課題に対しては対策を立て、学校全体で取り組んでいきます。
各ご家庭におかれましても、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。